



2022年1月28日

東武タワースカイツリー株式会社

**東武タワースカイツリー株式会社は、
公益財団法人日本オリンピック委員会と**

TEAM JAPAN オフィシャルサポーターシップ契約 を締結しました

～「東京スカイツリー®の運営・管理」カテゴリーにおけるスポンサーに決定～

東武タワースカイツリー株式会社（本社：東京都墨田区、代表取締役会長兼社長：岩瀬 豊）は、公益財団法人日本オリンピック委員会（会長：山下 泰裕、以下 JOC）と、「東京スカイツリー®の運営・管理」カテゴリーにおける『TEAM JAPAN オフィシャルサポーターシップ契約』を締結いたしました。



東京スカイツリー®の
管理・運営

東京スカイツリーは、自立式電波塔として世界一の高さを誇る重要な施設として、そして関東一円を見渡す広大な景色を眺めることのできる展望台として、2012年5月に開業いたしました。国内のみならず世界各国から大勢のお客さまにご来場いただき、東京の新しいシンボルとして、日本の魅力を発信してくるとともに、東京2020大会ではオフィシャルサポーターとして、大会成功に向けて、機運醸成に努めてまいりました。

このたび、東京スカイツリーは、JOCの「スポーツを通して豊かに生きる喜びが浸透している社会をつくる。」というビジョンに賛同し、TEAM JAPAN パートナースhipプログラムを通じて、社会を支える世界一の高さを誇る自立式電波塔として、多くの人々の笑顔が集まる東京のシンボルとして、TEAM JAPAN を応援してまいります。

以上

■ TEAM JAPAN オフィシャルサポーターシップ契約概要

契約プログラム	TEAM JAPAN パートナーシッププログラム
契約内容	オフィシャルサポーター：東京スカイツリー®の運営・管理
契約期間	契約締結日～2024年12月31日まで
対象	<大会および日本代表選手団> 第24回オリンピック冬季競技大会（2022/北京） FISU ワールドユニバーシティゲームズ（2021/成都） 第19回アジア競技大会（2022/杭州） FISU ワールドユニバーシティゲームズ（2023/レークプラシッド） FISU ワールドユニバーシティゲームズ（2023/エカテリンブルク） 第6回アジアインドア&マーシャルアーツゲームズ（2023/バンコク・チェンブリ） 第1回東アジアユースゲームズ（2023/ウランバートル） 第2回 ANOC ワールドビーチゲームズ（2023/未定） 第4回ユースオリンピック冬季競技大会（2024/江原道） 第33回オリンピック競技大会（2024/パリ）
領域	日本国内

■山下 泰裕 公益財団法人日本オリンピック委員会 会長 コメント

このたび、東武タワースカイツリー株式会社様を TEAM JAPAN オフィシャルサポーターとしてお迎えできることを嬉しく思います。東京 2020 大会に引き続き、北京 2022 冬季大会においても特別ライティングとレーザーマッピングで TEAM JAPAN を後押しいただけることとなりました。日本のみならず世界各国の方々より、東京の新しいシンボルとして親しまれ、日本や東京の魅力を発信し続ける東京スカイツリーと、日本を代表して世界で活躍する TEAM JAPAN が連携することで、今まで以上にスポーツを通じて社会の皆さまに希望の光を届けられるよう歩んで参りたいと思います。

■岩瀬 豊 東武タワースカイツリー株式会社 代表取締役会長兼社長 コメント

このたび、TEAM JAPAN オフィシャルサポーターとして、TEAM JAPAN の応援に参画できますことを大変光栄に思います。

コロナ禍で開催された東京 2020 大会において、TEAM JAPAN の皆さまがスポーツを通じて、私たちに大きな感動と勇気を与えてくれた様子に深く感銘を受けました。

東京スカイツリーは、社会を支える世界一の高さを誇る自立式電波塔として、多くの人々の笑顔が集まる東京のシンボルとして、TEAM JAPAN を応援してまいります。